

**イノベーションが起こる地域社会創造に向けて**  
**— 飯田市の取り組みを事例に —**

2016年10月27日

飯田市長 牧野光朗

# 飯田市の概要

## 多様な自然・風土・文化

面積	658.66km <sup>2</sup>
人口(H28.9.30)	103,624人
世帯数(H28.9.30)	39,755世帯
標高(市役所)	499.02m
日照時間(2010年)	1,946.7時間
森林面積(割合)	全市域の84.6%



街のシンボル  
りんご並木

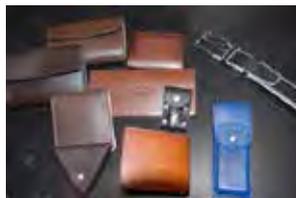
多様な主体によるまちづくり



## 伝統産業

### 革製品

(ブランド名:  
南信州飯田工房)



### 精密部品



## 多様なものづくりの集積地

### 環境産業



市田柿



人形劇のまち

右肩下がり時代の課題克服に向けて

# 右肩下がり時代の「三重苦」

## ・人口減少、少子化、高齢化

(子育て世代が出生率の最も低い首都圏に一極集中、人材サイクル構築がされていない)

地方創生  
本部

## ・国も地方も財政難

(国の借金は1千兆円以上、地方は国の下支えを期待できない、公共施設の老朽化も課題)

経済財政  
諮問会議  
(専門調査会:  
経済・財政一  
体改革推進委  
員会)

## ・自立心の欠如 = 大都市も地方も「受け身の社会」

(行政サービスの「受け手」に留まる大都市の住民、行政への依存心が強い地方の住民)

地域の課  
題解決の  
ための地  
域運営組  
織に関する  
有識者  
会議

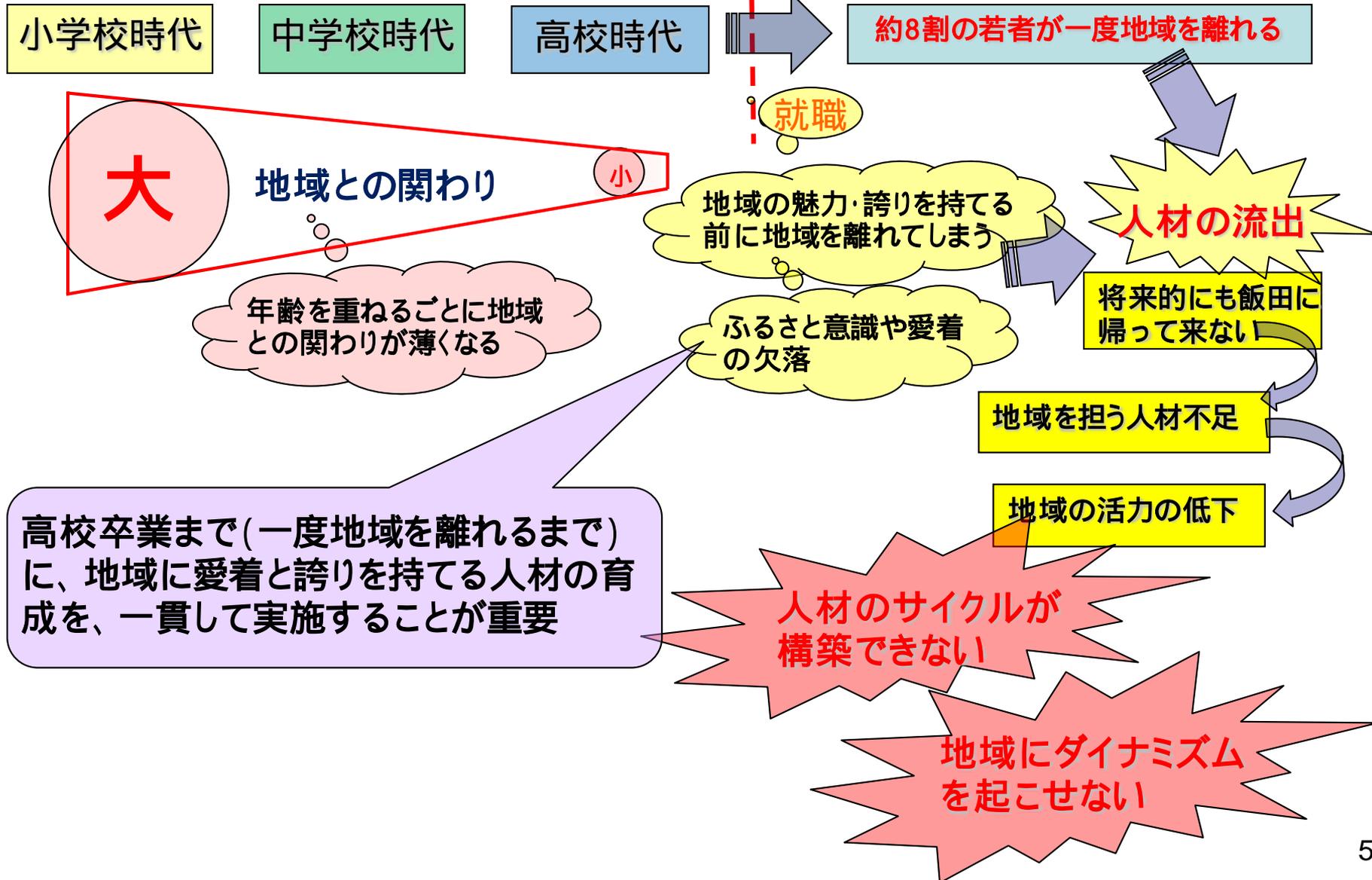
「三重苦」は相互  
に深く関連、これら  
を克服する総合的  
な処方箋が不可欠

真の「地方創生」

(内閣府での役割分担)

# 人材サイクル構築が出来ないと...

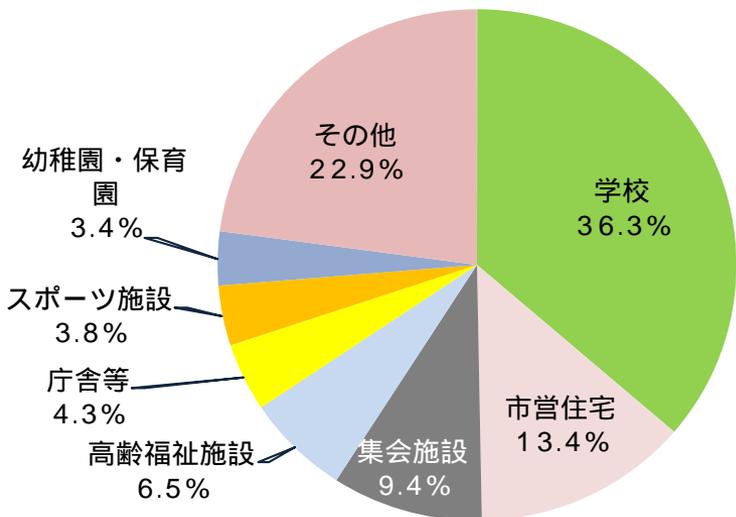
## 【現 状】



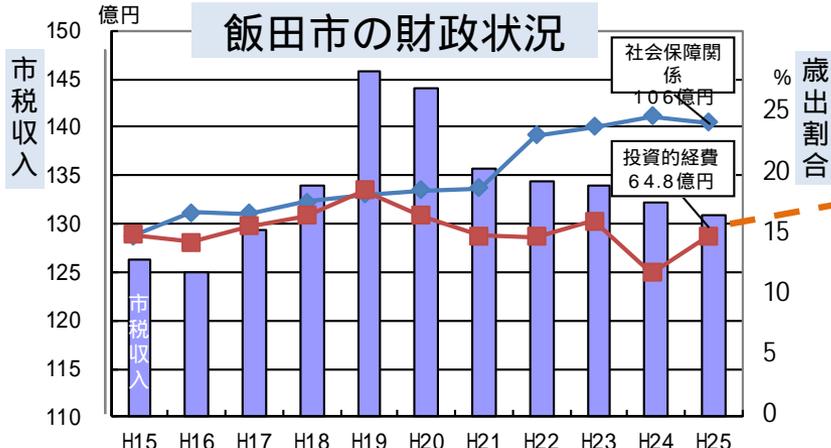
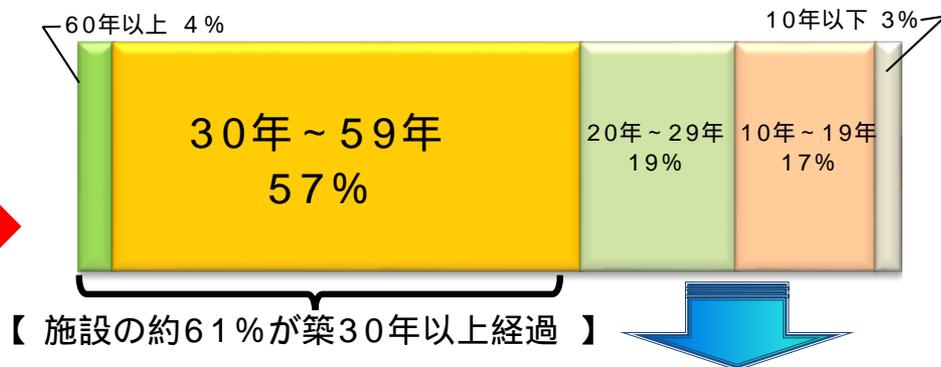
# 飯田市の公共施設の現状

- ・半数を超える公共施設が築30年以上を経過している。(公共施設・・・建物施設を対象。H25年末825件)
- ・今後、老朽化に伴う大規模修繕や建替えなどに多くの費用が必要となる。

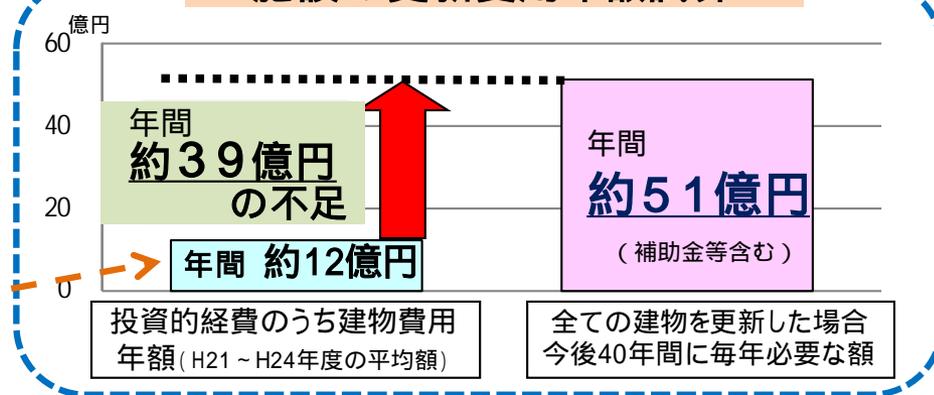
## 公共施設の延床面積の割合



## 公共施設の建築年別の割合

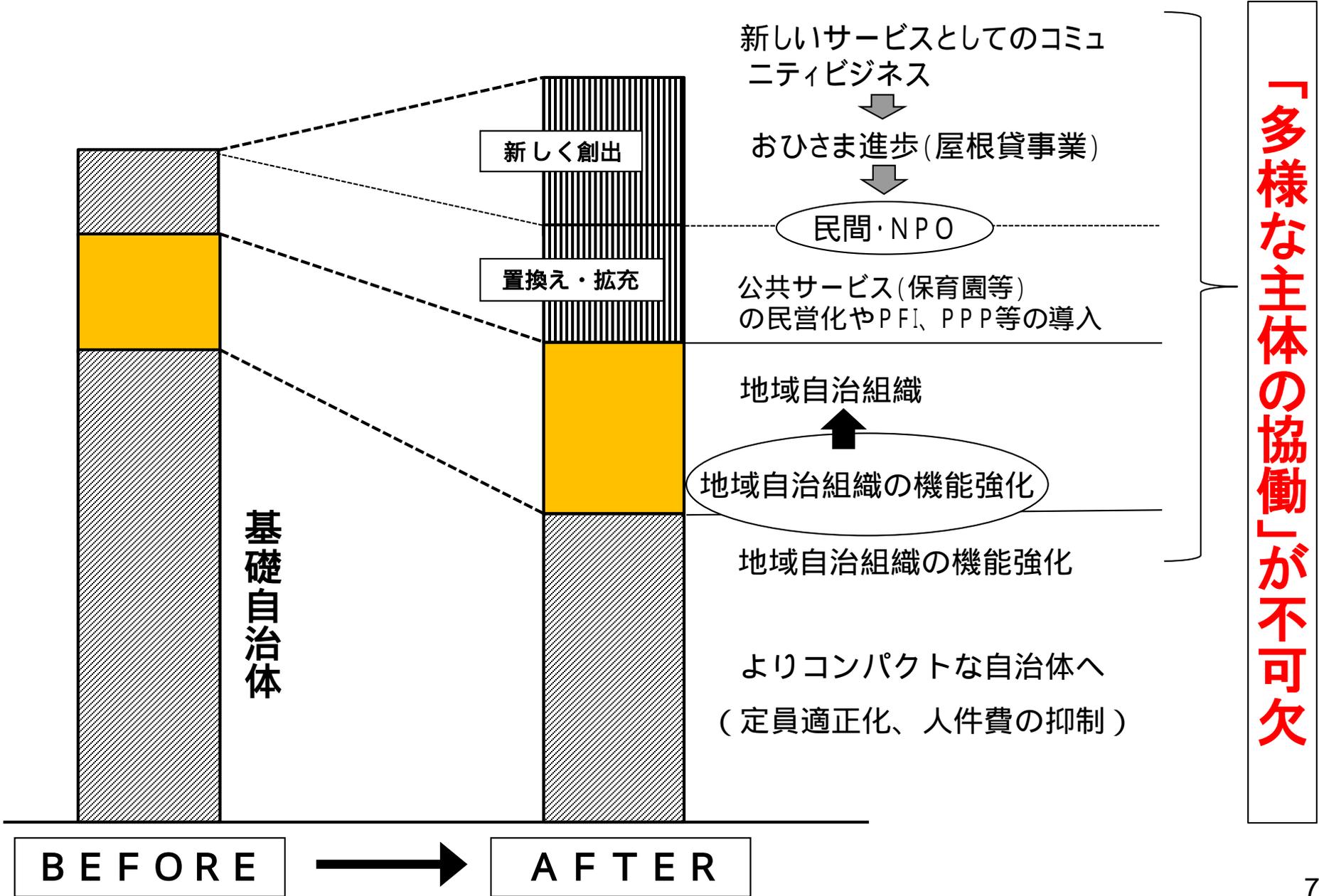


## 施設の更新費用年額試算



現在保有する全ての公共施設を  
そのまま維持することは極めて厳しい状況

# 基礎自治体（市町村）の行政サービスの範囲（イメージ）



# 先進優良事例(イノベーション)の横展開

# どうすればできるのか？

事例集をつくっても・・・



先進地に視察に行っても・・・



「自分の地域では、できないなあ」というつぶやきが聞こえてくる



# 横展開を図るための考察 ①

## 飯田地域の先進的な取組



どうしてこんなに先進事例が出てくるのか？

# 横展開を図るための考察 ②

